

# 臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 23 年 4 月

A-11-08

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度現在使用しております全自動免疫分析装置（EIA 法・FPIA 法）が老朽化のため、同一メーカーのより高感度の全自動化学発光免疫測定装置（CLIA 法）に変更することとなりました。

これに伴い、測定方法・測定試薬変更により、下記検査項目の検査内容を変更させて頂きたくご案内申し上げます。

誠に恐縮ではございますが、事情ご賢察の上何卒ご了承の様宜しくお願い申し上げます。

敬具

### 記

- ◆ 実施日 平成 23 年 5 月 6 日（金）ご依頼分より
- ◆ 変更内容 次面参照

◆変更内容

2011年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更内容	新	旧	備考
P22	13010	HIV 抗原抗体	検査法	CLIA	EIA	※判定基準等に変更はございません。
P28	14170	HCV 抗体 II	検査法	CLIA	EIA	※新旧二法の相関(欄外記載) ※判定基準等に変更はございません。
P30	18430	副甲状腺ホルモン (PTH)-インタクト	検査法	CLIA	EIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=1.07X+28.87 r=0.96(n=20) (X 平均:120.2、y 平均:157.5)
			報告上下限值	3 未満 3000 以上	1 未満 2000 以上	
			基準値	15~69pg/ml	9~80pg/ml	
P36	20480	SCC 抗原 (扁平上皮癌関連抗原)	所要日数	2 日	3~5 日	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=0.95X-0.05 r=0.969(n=69) (X 平均:1.7、y 平均:1.6) ※基準値等に変更はございません。
P50	21010	フェノバルビタール(PB)	検査法	CLIA	FPIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=1.15X-1.13 r=0.997(n=12) (X 平均:13.5、y 平均:14.4) ※基準値等に変更はございません。
P50	21020	フェニトイン(PTH)	検査法	CLIA	FPIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=0.87X-0.20 r=0.999(n=17) (X 平均:10.8、y 平均:9.2) ※基準値等に変更はございません。
P50	21030	カルバマゼピン(CBZ)	検査法	CLIA	FPIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=0.84X+0.70 r=0.967(n=25) (X 平均:7.3、y 平均:6.8) ※基準値等に変更はございません。
			報告下限値	2.0 未満	0.5 未満	
P50	21040	バルプロ酸(VPA)	検査法	CLIA	FPIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=0.76X+3.37 r=0.942(n=22) (X 平均:41.4、y 平均:35.0) ※基準値等に変更はございません。
			報告下限値	2.0 未満	0.7 未満	
P50	21050	ジゴキシン	検査法	CLIA	EIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=1.03X-0.27 r=0.971(n=46) (X 平均:1.2、y 平均:0.9) ※基準値等に変更はございません。
P53	21060	テオフィリン	検査法	CLIA	FPIA	※新旧二法の相関(y:新法,X:旧法) y=0.94X+0.60 r=0.996(n=33) (X 平均:11.0、y 平均:10.5) ※基準値等に変更はございません。
			報告下限値	0.1 未満	0.8 未満	

<参考:HCV 抗体 II 新旧二法の相関>

※判定一致率:96.0%(48/50)

		旧法(EIA)	
		+	-
新法 (CLIA)	+	43	0
	-	2	5

※S/Co 値の相関  
(y:新法、X:旧法)  
y=0.1X+3.77  
r=0.826(n=50)  
(y 平均:8.6、X 平均:46.0)

※結果の解釈(メーカー資料より)

	新法(CLIA)	旧法(EIA)	結果の解釈
低力価	1.0~4.0 未満	1.0~15.0 未満	ウイルス血症の可能性は極めて低いとされています。
中力価	4.0~12.0 未満	15.0~100.0 未満	
高力価	12.0 以上	100.0 以上	